

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	化学基礎
履修条件 対象生徒	必修 普通科 1年		化学基礎（数研出版）
学習目標	化学的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
学習方法	<p>【授業】 化学基礎（数研出版）の教科書とプリントを用いて、授業を展開する。必要に応じて、インターネット等の電子コンテンツを利用したり、実験をしてレポートを書いたりして科学的な実力を養成する。</p> <p>【家庭】 授業で示した参考書やプリント等を活用して、復習に重点を置いた努力をすること。予習は、次回範囲を一読し、重要語句を把握しておくことが大切である。</p> <p>【補習・その他】 課題のプリントや授業中に指示した宿題について、各自が定期的に学習することが望まれる。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期 (1) 期末考査まで ア 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合 (応用演習)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化学領域の基本法則やいろいろな化学反応について学ぶ。 周期表を中心に物質の基本性質を学ぶ。 	
	<p>2 2学期 (1) 期末考査まで ア 探究活動 身のまわりの物質について調べてみよう (夏休みの自由研究) イ 第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第2章 酸と塩基の反応 第3章 酸化還元反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原子、分子、イオンの相違点を理解する。 物質の考え方としてアボガドロ数、物質の質量や体積と物質の関係を理解する。 酸と塩基の中和について学び、中和滴定実験から中和の量的関係を理解する。 化学実験について、実験室の利用法や薬品の取り扱い方法について、基本的な知識理解を数テーマの実験をしながら身につける。 	
	<p>3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 探究活動 身近な化学変化について調べてみよう (冬休みの調べ学習) イ 第3編 電池・電気分解 酸化還元反応の応用演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動については、インターネットコンテンツを利用し、パワーポイント等のソフトを活用してまとめる。 応用演習は、発展的な内容を扱い自然科学の歴史的な経緯や内容を学ぶ。 友人の研究発表を見聞し、自然の探究の方法について深める。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期考査の成績に加えて、課題・実験操作・提出レポート・授業への取組状況等評価方法を評価し、総合的に判断して評価する。		
その他			